

岡山駅を出発する三鼓さんと田中さん（手前の左から2人）



おかやま国際塾

# 医療支援を“体験”

## 学生8人モンゴルへ出発

岡山県内の大学生に国際感覚を養ってもらおう「おかやま国際塾」の1期生8人が、モンゴルで国際医療ボランティア・AMD A（本部・岡山市）の医療活動の見学や現地学生と交流を行うため23日、JR岡山駅などから出発した。

AMD Aはモンゴルで眼科の医療支援に取り組んでおり、8人は30日まで、現地で児童養護施設の子どもたちへの歯磨き指導や衛生

教育をするほか、交流会では英語のスピーチなどを行う。

23日朝、岡山大法学部3年田中杏奈さん（21）と同三鼓理恵さん（20）が岡山駅から出

発。2人は「貧困などで苦しむ現地の内情や日本との違いを知ること、支援の在り方を考えたい」と話し、スタッフと共に新幹線に乗り込んだ。2人は他

の6人と関西国際空港で合流し、同日夕に首都・ウランバートルに入る。

同塾はAMD Aと岡山大教員でつくる同塾実行委の主催。海外で

の体験などを通じて国際貢献活動への理解を深めてもらおうと、今年初めて募集した。1期生は7月中旬から計5回、講義や意見交換を重ねてきた。9月には、今回の体験の報告会を開く予定。

（小谷章浩）